

## グループホーム「櫻」第20回運営推進会議議事録

日時 平成23年6月28日(火) 14:00～15:00  
場所 グループホーム「櫻」 1F 食堂  
出席者 運営推進会議委員  
逗子市福祉部 介護保険課長 舘 兼 好  
葉桜自治会 副会長 杉 浦 強 司  
社協：地域包括支援センター管理者 渡 邊 誓 子  
(代理：清田様)  
逗子市民生委員 栃 本 文 江  
ご家族代表 今 井 美 智 子  
(委員5名 5名 出席)  
医療法人社団柏信会 理事長 角 野 禎 子  
総看護部長 岩 木 和 子  
グループホーム「櫻」 管理者 菅 谷 弘 子  
事務長 遠 藤 勝 三

### 会 議 概 要

#### 1. 開会の辞

定刻、管理者は各委員に本日の出席を謝し本委員会の開催を宣し、前回の委員会を諸般の事情で欠席された、逗子市民生委員の栃本文江様を各委員に紹介、栃本委員には管理者から個々に役職及び氏名を紹介した。

新委員等の自己紹介後、管理者は理事長に挨拶を要請した。

理事長挨拶要旨

「来年度は介護保険、医療保険の同時改正が行なわれる。介護保険制度にはもともと無理があり、どのような改正になるのか期待している。厳しい運用を強いられる現況をどのように改められるのか、介護報酬に委員の方も関心を持って見て頂きたいと思います。今後とも「櫻」の運用にあたりご協力の程宜しくお願いしたい。」

理事長挨拶終了後、議事の進行及び報告等を事務長に指示。

事務長は配布資料を確認した後、会議次第に基づき報告説明を行なう。

#### 2. 議題

##### ( ) 報告事項

運営状況(現況)等について

ア 入居者の現況及び活動状況について（資料）

入居者の現況については資料により概要を報告すると共に以下について補足説明を行なった。

：AユニットはBユニットに比較し、数的には平均年齢及び介護度が高くなっているが、介護の難易度はBユニットが高い状況にある。また、これについて1F及び2Fユニットにおける利用者の特徴等について若干の補足説明があった。

：活動状況については資料「さくら」の掲載写真を紹介し概要を報告。特に1四半期は気候も良くなり、外気浴を含め屋外に出る機会が増えた。さくらやつつじの花見、高校生ボランティアによる和太鼓の演奏（グリーンハウス逗子）、「すかっこチーム」によるよさこいソーラン踊りをご家族とご一緒に楽しまれた。

なお、前回開催された際に報告されたご利用者様ご家族との1F及び2F合同懇談会の様子などを写真により改めて報告。

イ「櫻」を取り巻く外部環境について（資料）

「櫻」の運営上、多少なりとも関係する事項として報告。

逗子市内には既設の認知症対応型共同生活介護事業所が4施設（5ユニット定員45名）のところ、6月より1ユニットが池子に開設され6ユニット53名となりました。

さらに、タワミの介護付老人ホーム（53室53名）が東逗子に開設されました。これにより、ご利用者様の施設選択肢の範囲は拡大され喜ばしい状況ですが、その反面、各施設において空き室の間隔が開くやに聞き及んでおります。

また、介護従事者の職場選択も同様となり、人材確保にも困難が予想される。特にワタミの進出は人材確保にかなりの影響が見られ入居者及び介護スタッフの確保と両面から取り組む必要が迫られている一部事業所もあります。

介護保険収入の横ばいで優秀な人材確保は人件費の増加ともなり永久の課題となりそうです。

「櫻」はお蔭様で現時点では満室で待ちの方は3名おられ、介護従事者も必要数は確保されており、当面はサービスの向上を図るために、従業員の勤務環境の整備、スキルアップを目指し研修や教育を実施、定着率を高めたいと努力しているところです。

ウ 地域との交流について（提案）

事務長は地域との交流について以下の提案理由を付し各委員に図っ

た。特に杉浦委員（葉桜自治会）に協力を要請し了承を得た。

「現状は認知症対応型共同生活介護施設という特殊性から地域との流が思うように実現できない状態にある。

今までは地域の催し物を見させて頂くといった消極的な参加であったが、今年度からは逆に地域の方に施設を訪れて頂くようにしたい。その手始めとして、葉桜自治会の希望者にご案内を差し上げ「櫻」の催し物にご参加頂き、多少なりとも交流の形を変えられればと思っています。数少ない機会を利用して交流の実を少しでも挙げていきたいのでご意見をいただきたい。」

#### 検討結果の概要

- : 具体策としては「櫻」からのアプローチに自治会が応える形で実施「櫻」における催し物の案内を自治会役員会に出す。その際、受け入れ可能人員をお知らせして希望者を募って頂く。
  - : 少人数による施設見学。
  - : 少人数によるボランティアの受け入れ。
  - : ボランティアについてはどのような内容のボランティアが自治会に存在するのか情報提供を頂き、「櫻」が選択して願います。
  - : 自治会で少人数のサークル活動を実施している代表と直接話し合い参加を促す。
  - : 地域包括支援センター関係者の施設見学も検討する。
  - : 「櫻」の参加型としては、毎週日曜日に葉桜中央広場で朝市が行われているので可能であれば参加（見物）する。
  - : 自治会としては広報、情報提供の協力は惜しまない。
- これらを踏まえ「櫻」としてさらに詰めて自治会に願う事になった。

#### ( ) その他

報告等終了後は懇談会形式で意見交換を行なった。（細部割愛）懇談は前回同様、東日本大震災の話題に終始した。主な内容については以下の通りであった。

: 地震発生時における「櫻」の行動、施設の被害、停電時の対処要領及び非常食等や行政における各福祉施設の状況把握について概ね前回と同様の話題であったが、自治会における組織的対応については、特に地域の協力体制等については病院側と自治会の意見交換が行われるなど、「櫻」も含め防災に関する地域の状況等で有意義な懇談となった。

## 1 閉会の辞

議案等の終了を見届け予定時刻前ではあったが、管理者は各委員に対し次回の開催を確認（23年9月27日 火曜日）すると共に、本日の出席を謝し閉会を宣した。